

◎永遠の経典 [御書] に学ぶ

「我ありて、仏法あり」。日蓮大聖人の大確信です。大聖人が一身に大難を受けきってくださったからこそ、仏の言葉は「真実」になったのです。

「仏法は真実なり」と証明するために、大聖人は自ら魔を駆り出して戦われたのです。その大闘争がなければ、どんな立派な経典も、結局は、ただの本にすぎません。どんな深遠な経文も、ただの言葉にすぎません。

その言葉に、命を吹き込んでこそ仏法です。本当の宗教です

(『永遠の経典 [御書] に学ぶ』第1巻 23 ページ)

◎永遠の経典 [御書] に学ぶ

「日蓮なくば仏語既に絶えなん」とありますが、御本仏・日蓮大聖人の御言葉を絶対に嘘にしないというのが、創価学会の根本精神です。

牧口先生が、そうでした。戸田先生が、そうでした。この誓いが、弟子の魂です

(『永遠の経典 [御書] に学ぶ』第1巻 23 ページ)